



BCAOアワード2009審査結果

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及及び実践に貢献した個人及び団体を表彰する「BCAO アワード 2009」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは、2006年度に創設され、今回が4回目の表彰となります。

5月31日(月)午後、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて一般公開で表彰式を行い、多くの方に参考にしていただけるよう、5件の受賞者からそれぞれの内容についてご発表いただく予定です。

受賞者

	タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
大賞	横浜市経済観光局殿の『お互いさま BC 連携』～横浜市における中小製造業BCP普及啓発活動』 代表者：金子延康様	BCP 普及のため、市内企業向けの講習会、セミナーなどを積極的に開催するとともに、教材を開発するなどの工夫を重ねていること。企業への資金面での支援として、BCP 作成や耐震対策資金に対する融資制度及び防災対策のための設備投資助成を創設されたこと。「震災時に備えた事業継続に関する研究会」を開催し、その具体的成果として「お互いさま BC 連携」により事業継続を進めるため、「災害時における相互委託加工契約」、「災害時における委託加工をするための品質保証協定」が市内メッキ業者2社の間で締結されたこと。これらの活動を積極的に外部に紹介していること。この活動が、他の地域での取組みに参考となると考えられたこと。
優秀実践賞	電子情報技術産業協会(JEITA)新型インフルエンザ対策検討TF殿の「電子情報技術産業協会(JEITA)新型インフルエンザ対策検討TFの活動」 代表者：荒木吉雄様	新型インフルエンザ対策に関して情報システム産業が社会機能維持者であるということの問題提起を行い、JEITA 加盟各社及びJISA と協議し、厚生労働省、経済産業省などとも意見交換した上で提言を行ったこと。このことが2008年11月の政府ガイドラインにおいて情報システム産業が社会機能維持者として考慮されるようになったこと。新型インフルエンザのためのBCP策定に向けて情報システム産業の各社が顧客との関係で協議すべき事項などを整理して「新型インフルエンザ対策における情報システム関連企業連携の進め方ガイド」を公開したこと。その中で、顧客企業との連携を促すための「調整依頼文書」や「BCP 要件整理シート」の例を提示したことにより、企業間の連携促進に大きく貢献したこと。

優秀実践賞	トッパン・フォームズ(株)殿の「トッパンフォームズグループのデータプリントサービス(DPS)事業におけるBCMS策定」 代表者：山田喜代信様	BCPは企業価値を高めるものと位置づけ、企業グループ全体としてBCPを策定する方針を社長以下で固めていること。東京～首都圏主要工場間のBCP、東京～関西間のバックアップBCPなどを策定し、これに基づく拠点連携訓練を実施し、また、訓練で明らかになった課題をもとに改良を加えていること。社内にBCP専門人材を育成していること。本社近隣企業に呼び掛け地域でのBCPの取組に貢献していること。
特別賞	信州大学・医学部付属病院「医療サービス継続計画『医療版BCP』検討グループ」殿の「医療版BCP『ICT環境が浸透した大学病院における医療サービス継続計画』」 代表者：坂田信裕様	情報通信技術（ICT）環境を医療現場に浸透させ、365日24時間日常の医療行為にICTを利用するシステム導入を機に、医療サービスの継続計画（医療版BCP）構築に取り組んできたこと。大規模災害時に病院情報システムが全停止した場合を想定し対応策検討と支援システム機能を開発していること。大規模災害時に病院情報システムが、全面的に停止し復旧までの日数がかかる場合に医療サービスを継続するための支援システム構築を進めていること。大学病院関係者のみならず、大学学長管轄の支援事業として実施していること。これらの取組について大学外部向けに積極的に公表してきていること。
特別賞	日本ユニシスグループ殿の「日本ユニシスグループにおける新型インフルエンザ対応BCP-弱毒型対応を含む行動計画策定推進と情報公開」 代表者：多田哲様	2007年4月から新型インフルエンザ対策BCP・BCMに取り組み、3つの被害レベルを想定した対応を事前に策定し、その行動計画を積極的に社外向けホームページに情報公開してきたこと。これがH1N1流行時に有効に社内で活用できたのみならず、社内の発令・情報発信の内容を、社外にも情報提供したことにより、他社が取り組むにあたり参考となる先行事例の参考として活用されたこと。新型インフルエンザ対応のBCPに関して先導的で先駆的な役割を果たした価値は大きいものがあること。

BCAO アワード選考委員会では、2009年10月26日から12月28日の募集期間に応募があったものについて、次の観点から厳正なる審査を行いました。

- ・ BCの普及に向けて社会的に影響が大きいこと
- ・ 多くの出版・寄稿など公表履歴があること(優秀実践賞については公表履歴を必須とはしない)
- ・ BCの普及に向けて特に見るべき特徴があること

この結果、前記のとおり大賞1件、優秀実践賞2件、特別賞2件が選定されました。

表彰式

日 付 : 平成 22 年 5 月 31 日 (月)

会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号 TEL 03-3467-7201 (代表)

参加料 : 無料

定 員 : 300 名

申込方法 : ホームページ (<http://www.bcao.org/>) を参照してください。

表彰式および発表会 (予定):

13:00 ~ 13:05	「挨拶」 丸谷浩明 BCAO 理事長
13:05 ~ 13:15	「選考説明・受賞者発表」 BCAO 担当役員
13:15 ~ 13:30	「賞状授与」 丸谷浩明 BCAO 理事長
13:30 ~ 13:40	「記念撮影」
13:40 ~ 13:55	「大賞受賞者発表」
13:55 ~ 14:10	「優秀実践賞受賞者発表」
14:10 ~ 14:25	「優秀実践賞受賞者発表」
14:25 ~ 14:40	「特別賞受賞者発表」
14:40 ~ 14:55	「特別賞受賞者発表」

問合せ先 : NPO 法人事業継続推進機構 事務局 細坪 (ほそつぼ) 小山 (こやま)
TEL 03-5521-2235 FAX 03-5521-2236 bc@bcao.org

* 当日は報道受付を設けておりますが、混乱を避けるため事前に事務局宛にご連絡を頂ければ幸いです。